



No.318
2020年10月23日

江東区労連東

江東区労働組合総連合
〒135-0011 江東区扇橋 1-12-20
江東教育会館内
Tel.03-5606-5285 Fax03-3649-0131



大会が終わり新野委員長の音頭で団結がんばろう (20/9/26)

「コロナ禍の中で労働相談受け 組合員を増やして迎えた 地域労組こうとう第12回大会

地域労組こうとうは9月26日、江東区総合区民センターで第12回定期大会を開催し、組合員・来賓など44名が参加して開催されました。

大会は議長に組合員の広瀬夏美さんを推薦、まず新野委員長が、コロナ禍の中で解雇や休業など様々なトラブルの相談が寄せられた。地域労組こうとうは職場の中で一人ぼっちの労働者をなくそうとがんばっている。これからい

つそう奮闘したい」とあいさつ。続いて6名の方から来賓あいさつがありました。来賓の方：寺川・CUI東京副委員長、内田・江東区労連副議長、西田・東京東部法律事務所弁護士、あぜ上・日本共産党東京都議、正保・日本共産党江東区議、中村・江東総合法律事務所弁護士。

続いて鴨志田資格審査委員より、大会が組合員294人中37人の出席・175人の委任状

によって成立していることが宣言されました。

引き続き川村書記長から19年度活動報告があり、「この1年間、地域労組こうとうは多くの労働相談を受け、解決してきた。コロナ禍の中で組合員交流会も3か月ほど中止を余儀なくされたが9月から感染対策をとりながら再開した。今後いろいろな制約があるが、がんばっ

ていきたい。組合員はCUI本部の集計では302名の組合員だが、他地域分会を含んでいる。ぜひとも江東だけで300名を達成したい。」と述べました。続いて田辺会計から19年度会計報告。丹木会計監査から監査報告がありまし

た。引き続き20年度運動方針案と20年度予算案が報告されました。



11年間ごろうさま。会計監査をつとめた丹木さんに会計の田辺陽子さんから花束！

最後に大会は20年度新役員を選出して閉会、新野委員長の音頭で団結がんばろうを三唱して閉会しました。

★新役員

- 執行委員長：新野好雄
 - 副委員長：小倉一男
 - 書記長：清水啓子
 - 書記次長：清水英明
 - 書記長：川村好正
 - 書記次長：松井優希
 - 会計：田辺陽子
 - 会計監査：諸隈智子
- このほか、執行委員10名が選出されています。

明治乳業争議の早期解決を！ 東陽町・西友前で宣伝行動



西友前で争議支援を訴える明治乳業争議団と江東区労連の仲間 (20/10/18)

明治乳業争議団は10月18日、区内東陽町の西友前で明治乳業争議の支援と「明治の製品は買わない・飲まない・食べない」の運動への協力を訴えて宣伝行動を行いました。この行動には江東区労連の仲間7名も参加しました。

明治乳業争議団の村山さんは、今から30数年前に明治乳業で職場の改善を求めていた労働者に対して赤組・白組・雑草組のレッテルを張って、賃金昇格差別を行ってきた。争議団との話し合いを拒否しつづける企業体質が様々な食品事故や不祥事につながって

いる」として明治の食品の不買運動への協力を訴えました。プラスタも掲げての宣伝でしたが、多くの買い物客がチラシを受け取り、見入っていました。このほか、争議支援共闘会議事務局長の菊池さんは、明治はLG21ヨーグルトが乳酸菌を無添加のまま販売したり、新宿区の学校給食で出された明治の牛乳で異臭があり4千人の児童が訴えたなどの不祥事が相次いだ。このような企業が労働者に職場の中で人権侵害を行っている。食の安全安心を守る企業になるように一日も早く解決していきたい」と述べました。明治乳業争議団は毎月一回、株明治本社が入る京橋エドグラン前では抗議の座り込みが行われ今年の9月で55回を数えています。

早期に1500名の組合に!

CU東京が活動者会議



コミュニケーションユニオンII C U II東京は10月17日に建設プラザ東京で1500名実現に向けて、第2回活動者会議を開催。全体で70名が参加し、地域労組こうとうからは10名が参加しました。

活動者会議では、佐藤執行委員長が主催者を代表してあいさつ。その後、全労連事務局長の黒澤さんから青年ユニオンがとりくんでいる学生・アルバイト休業手当不払い団交に参加した経験を紹介しながら、コロナ禍だからこそ仲間を広げ要求実現へというテーマで講演しました。黒澤さんは「コロナ禍で企業経営が大変だという企業に対しても労働組合が、使用者と対等の立場で交渉することにより、組合員だけでなくすべてのアルバイトに休業手当を勝ち取ることができた」と労働組合の役割の重要性について強調しました。

会議の後半は各支部からの経験が報告されました。地域労組こうとうからはこの

間特徴的だった労災事件について報告。災害性の原因によらない腰痛は認定が難しい事案でしたが、当時者本人から正確なヒアリングと専門機関であるいのちと健康を守る東京センターと連携し、労災認定を勝ち取ったことを報告しました。

トピックス

■江東区でも大学生にフイドバック

コロナ禍の中で大学生の生活が困窮している実態が報道されています。江東区に昔からある東京海洋大学(江東区越中島)に通う学生に江東区の青年団体がフイドバックを実施しています。大きな大学ではありませんが、それでも多くの学生が食料を求めています。

◆加勢労組の大会から

★地域労組こうとう第12回定期大会 9月26日(日)

委員長に新野好雄さん
書記長に川村好正さん

★江東区職労第69回定期大会 10月8日(日)

委員長に山本民子さん
書記長に中村 隆さん

★癌研労組第298回定期大会 10月8日(日)

委員長に板倉秀子さん
書記長に飯田雅憲さん

★郵政ユニオン新東京支部第9回定期大会 10月17日(日)

支部長に東條浩昭さん
書記長に野上 明さん

労働相談の窓口から

この間、3件の労働相談が解決しました。いずれも団体交渉での和解となりましたが、複雑な経過を経ているものもあります。

◆兄弟二人 一度に休むと困ると兄に異動(東京都労働相談情報センターから、男性・正規2名)

兄弟で金属部品販売会社に勤務している。親の介護のために都合つけつつ休暇を取っていたが、二人の業務の関係で一度に休むと困ると兄に異動通告があった。兄には持病があり、困ると相談に。2名とも組合に加入して交渉。2名とも退職の意向が強かったため、解決案をめぐり話し合いを継続した結果、会社都合の退職、会社都合の退職金の支払い、解決金の支払等で合意した。

◆正社員からパートになれと言われた(民主団体、女性・正規)

和菓子製造販売店に勤務

している女性。6月に社長からアルバイトとして勤務するように言われたと相談に。組合に加入して交渉。当初は退職前提の話だったが、社長がアルバイト化を撤回してきたので、継続勤務することになった。ところが、菓子の製造をしていると事あるごとに注文をつけ、仕事やりにくい等々の状態に。再度交渉をもち、本人の希望もあり、会社都合の合意退職となった。ほんの数人の会社で、離職者も多く、複雑な人間関係の中での復帰は困難だった。

◆コロナで休業のためシフト入らず(労働弁護士・男性・業務委託)

キックボクシングのジムのインストラクターとして働いていたが、4月以降、休業となり、仕事がまったくなくなった。契約書類を見ると、業務委託契約をしておき、個人事業主扱いだった。団交申入れに際しても、受諾義務はないが話し合いに応じる」として団交は行なった。業務委託契約でありながら「残業代」が支払われるなど労働者は明らかだったが争わず、持続化給付金でしのいでいたが、ジム再開にあたってシフト希望を出したが社長が拒否し再び交渉に。会社側は事前に本人にシフトを入れたる表明をしたので短時間で解決となった。

江東区労連からのお知らせ

■第12回江東なんでも相談会

- 日時…11月 3日(祝・火) 13:00-16:00
- 場所…江東区文化センター付近

■第184回憲法9条守ろう・9の日宣伝行動

- 日時…11月 9日(月)
- 場所…東大島・東陽町(7:30-8:15)
西大島・木場・辰巳・新木場(8:00-8:45)

■コロナ対策求める秋のスタンディング行動

- 日時…11月15日(日) 13:00-14:00
- 場所…豊洲ビバホーム前付近
- 内容…プラスターボードなどを持って訴えを行います。

【主催：区民要求実現江東大運動実行委員会】

■江東区労連第4次組織化宣伝行動

- 日時…11月25日(水)
- 場所…東大島・東陽町(7:30-8:15)
辰巳・新木場(8:00-8:45)

■江東区労連第38回秋の学習と交流のつどい

- 日時…11月27日(金) 18:30 開会
 - 会場…江東区亀戸文化センター
5F・第1・第2研修室
 - お話…中村優介弁護士
(日本労働弁護団事務局次長)
- 『働くルールの確立と労働組合の組織強化のために』
～コロナ禍のなかで求められるもの～
交流…4つ程度の組合からの報告
- 【共催：東京都労働相談情報センター・亀戸事務所の自主的労働教育助成事業】